

a 学校教育目標	みはらミライの挑戦 ーレッツ チャレンジー	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)子どもたちの未来を保障し、地域とともにある学校 【ビジョン】(自校の将来像)自分の未来、愛するふるさとの未来を創る教育活動を創造する。
----------	-----------------------	----------------------	--

評価計画					自己評価					改善方策		学校関係者評価		
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策等	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					適正	不明	不適正	
確かな学力の育成	学び力の土台づくり(基礎・基本の定着)	桜山・柳の坂タイムによる基礎の反復や個別指導の充実	①国語科(漢字・学期末の平均)・算数科(学期末の平均)のテストで、90点以上の児童の割合(低学年)、80点以上の児童の割合(3年生以上) ②NRT各教科の標準偏差	①90%以上(低学年) 80%以上(3年生以上) ②市平均+0.3ポイント										
	学び力の向上	みはらミライの授業プランを活用した授業づくりや相互参観・研究授業の実施	①教師の見取り振り返り(R80)をもとに、思考が深まったり変容したりする児童の割合 ②児童アンケートにおける肯定的回答の割合「振り返り(R80)を書くことで、勉強がよく分かるようになった」	①②80%										
豊かな心の育成	つながり力の向上	重点「あいさつ」指導について、児童会本部を中心としたあいさつ運動、縦割り班におけるあいさつ指導の充実	児童アンケートにおける肯定的評価の割合「三原小あいさつレベル3(元気よく・相手を見て・あいさつを返す)ができています」	90%										
	仲間と深くつながる集団の育成	友達と関わり合い、認め合う集団づくりに向けた活動の充実 ①個々のよさを認め合う場の設定 ②SSTや構成的グループエンカウンター等の仲間づくり活動の充実	①②児童アンケートにおける肯定的評価の割合「お互いのよさを認め合い、全員で本気で挑戦するクラスになっている」 QUアンケート「学校生活意欲総合点」の分布において、28点以上の児童の割合	80%										
健やかな体	自分力の土台づくり(運動習慣の定着)	①感覚づくりを意識した「三原小体操」の実施(体育の授業の導入時に) ②魅力的なわんぱくタイムの実施	①児童アンケートにおける肯定的評価の割合「体を動かすことが好き」 ②わんぱくタイム(運動遊び)への参加率	①80% ②90%										
	自分力の土台づくり(食習慣の定着)	栄養教諭と連携し、発達段階に応じた「食」に関する授業を全学年で実施	児童アンケートによる肯定的評価の割合「自分の体のことを考えて、嫌いな物にも挑戦している」	80%										
信頼される学校	自分力・ゆめ力・つながり力の向上	CSを活用した地域の強みを活かした活動の実施	児童アンケートによる肯定的評価の割合「自分のよさを知っている」(自分力) 「三原のために自分の力を発揮したい」(ゆめ力) 「三原が好き」(つながり力)	80%										
	働き方改革(次世代の働き方への体制づくり)	計画的な時間外勤務の短縮業務改善の推進	時間外勤務月45h以下を6か月以上実施	100%										

【j:自己評価 評価】  
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】  
イ:自己評価は適正である。 ハ:わからない。  
ロ:自己評価は適正でない。